

早稲田商学第 320 号  
昭和 62 年 1 月

## 鳥谷剛三先生のご定年退職にあたって

鳥谷剛三先生には昭和61年5月28日をもって満70歳に達せられ、明春3月には、定年制によって、早稲田大学を退職されます。私も、先生が古希の寿をお迎えになられましたことを衷心よりお慶び申し上げると共に、長年にわたり商学部における教育・研究にご尽力くださいましたことに対して深甚な敬意と謝意を表する次第でございます。



鳥谷先生は、東京外国語学校（現、東京外国語大学）英語部貿易科を昭和13年3月に卒業され、同年4月に商工省貿易局情報課に勤務されましたが、同年11月陸軍に徴集されたため、同省を退職されました。昭和17年に除隊され、約1年間富士写真フイルム株式会社に勤務されましたが、18年11月に同社を退社し、小樽高等商業学校（後に小樽経済専門学校と改称）の助教授として赴任し、23年3月まで同校にて英語を担当されました。同年4月には、東京に戻られて10年間貿易関係の仕事に従事されました。

先生は、昭和27年4月に非常勤講師として第二商学部において英語を担当されましたが、33年4月に専任講師に嘱任され、助教授を経て、41年4月に教授となり現在に至っておられます。先生のご担当は、英語、貿易英語（English Business Communication）および Advanced Business Writing（演習）です。先生は、通算しますと実に35年間にわたり、商学部で学生の教育に携わられたばかりでなく、また、学内の各種委員会委員としてもご尽力下さいました。この間、私どもにとって特に忘れることができないのは、昭和41年に起こった

大学紛争の最中に、同僚の柳井哲男助教授が不慮の事故で亡くなられたことです。柳井先生は東京外国語大学の卒業生で、鳥谷先生の後輩になるので、日頃から鳥谷先生を敬慕しており、また鳥谷先生も柳井先生の面倒を大変良く見ておられました。それだけに、柳井先生が行方不明になられたときは、鳥谷先生は商学部の先生方と一緒に夢中で捜査にあたられました。そこに、先生の人間性の一面を伺うことができた思いが致しました。

上記の略歴に示されておりますように、鳥谷先生は貿易実務に携わっておられましたので、貿易取引に関して非常にご造詣が深く、英語に関する論文の外に、貿易英語に関する著書論文が多数あります。学会関係では、日本商業英語学会の常任理事であり、また同学会関東支部長として長年ご活躍され、学会の発展に貢献されてきました。また日本商工会議所主催の「商業英語検定試験」の専門委員として、わが国の Business English の発展にも多大の貢献をされております。

振り返ってみますと、私自身も先生に研究・教育の面で大変お世話になりました。長年にわたり本当に有難うございました。これからも私どもをご指導ご鞭撻下さるようお願い致します。終わりに、商学部関係者一同に代わり、先生が商学部に尽くされた偉大な業績に心から感謝申し上げるとともに、先生が益々ご健勝でありますよう祈念致します。

早稲田商学同攻会

会 長 朝 岡 良 平

早稲田商学第 320 号  
昭和 62 年 1 月

## 鳥谷剛三先生略歴・研究業績

本 籍 青森県  
現 住 所 東京都目黒区八雲 2-23-21  
氏 名 <sup>と や たけみつ</sup> 鳥谷 剛三  
生年月日 大正 5 年 5 月 28 日

### 〔略 歴〕

昭和13年 3 月 東京外国語学校英語部貿易科卒業（現東京外国語大学）  
昭和13年 4 月 商工省貿易局情報課  
～13年12月  
昭和13年 4 月 大倉高等商業学校中等部兼任講師（英語担当）  
～13年12月  
昭和13年12月 兵役（旧満州）  
～17年 4 月  
昭和17年 9 月 大倉高等商業学校中等部講師（英語担当）  
～18年11月  
昭和17年12月 富士写真フイルム株式会社社員  
～18年11月  
昭和18年11月 小樽高等商業学校（後の小樽経済専門学校）助教授（英語担当）  
～23年 4 月  
昭和23年 8 月 日本紙交易株式会社東京営業所勤務  
～24年 6 月

昭和24年 7 月 ～26年12月	朝日電機工業(株)の創設に参加
昭和26年 4 月 ～32年 3 月	Wilbur Ellis Company, Inc., San Francisco, U. S. A. の東 京支店に勤務
昭和27年 4 月 ～33年 3 月	早稲田大学商学部非常勤講師 (英語担当)
昭和28年 7 月 ～現在	津田英語会講師・同会経営の津田スクール・オブ・ビジネスの 講師 (ビジネス英語担当)
昭和33年 4 月 ～36年 3 月	早稲田大学専任講師 (英語担当)
昭和36年 4 月 ～41年 3 月	早稲田大学助教授 (英語担当)
昭和41年 4 月 ～現在	早稲田大学教授 [貿易英語 (後に English Business Commu- nication と科目名変更) および英語担当]
昭和52年 4 月 ～現在	青山学院大学兼担講師 (商業英語担当)

## 〔研究業績〕

## 〈著 書〉

1. A New Approach to Business English for Foreign Trade (Advanced Course)	敬文堂	昭43年 4 月
2. ビジネス英語60日	三省堂	昭44年11月
3. 貿易英語	成美堂	昭50年 1 月
4. 最新貿易英語	南雲堂	昭51年 2 月
5. 貿易英語	朝日出版社	昭51年 7 月
6. 新貿易英語教本	成美堂	昭53年 1 月

- |                |       |          |
|----------------|-------|----------|
| 7. 詳説ビジネス英語    | 成文堂   | 昭54年 6 月 |
| 8. 国際貿易英語〔改訂版〕 | 成美堂   | 昭55年 1 月 |
| 9. 貿易英語（新訂版）   | 朝日出版社 | 昭57年 6 月 |
| 10. 新訂最新貿易英語   | 南雲堂   | 昭58年 4 月 |

# 〈共著・総監修〉

1. Business English Masters Volumes 1～5      Britannica Japan, Inc.  
1980（横浜国立大学教授長谷川潔氏と共同で総監修）
2. Business English Master Handbook      Britannica Japan, Inc. 1980  
（共著・総監修）

# 〈論 文〉

Notes on ‘And-whichery’—With special reference to coordination between a defining clause or equivalent and a non-defining clause      早稲田商学 150 号      昭和36年 1 月

On Tenses Used in the *As If (Though)* Clause      早稲田商学 158 号      昭和37年 3 月

The Alternate Use of the Animate and Inanimate Gender for One and the Same Animal      早稲田商学164・165号      昭和37年11月

Notional Plurality in English      早稲田商学 169 号      昭和38年11月

‘DETACHED’ *WHICH*—An Aspect of *Which* As A Continuative Relative      早稲田商学 177 号      昭和40年 1 月

‘THE REASON ... IS BECAUSE ... ’      早稲田商学 181 号      昭和40年 6 月

The Future And Future Perfect Tenses In Temporal Clauses      早稲田商学 184 号      昭和40年10月

以 上